

熊本県立劇場 伝承芸能調査事業 市町村別データベース(上天草市)

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
1	上天草市	(旧松島町)阿村	阿村がたきり踊り		松島町無形民俗文化財 昭和58年3月	不定期		長い土手ばな おざやの土手は 流れ千間 五十五間 と歌われた「おざや新地(現八代郡の鏡町)」の干拓工事。阿村からも三百人も工事人夫として出かけたといわれている。その中に「お菊」とい可憐な娘がいたのを次のとおり歌っている「阿村お菊を花壇に据えて花と見比べて見とうござる」たいそう美人で、氣立てがよく、そのうえ働き者だったそうである。お菊は工事監督と恋におちいるが、このロマンが労働歌としてはやしたてられ、今日まで歌と踊りで、郷土芸能として地区で受け継がれている。事実お菊は実在した人でその後、阿村に帰り地元若者と結婚、明治十二年七十六歳でこの世を去った。【松島町HP/2005】 工事人夫「お菊」と工事監督「大場利兵衛」との恋物語を語り継ぐ労働歌である。【2001】 《構成》踊り(大場1、男衆2、担い手8)、締太鼓1、三味線1、笛2、歌い手2、おはやし2。《特色》干拓作業を踊りにしたもので、歌は大場とお菊の悲恋を歌っている。【1991】		上天草市役所 0964-56-1111 FAX : 0964-56-4972 info@kamiamakusa-c.kumamoto-sgn.jp 〒869-3692 熊本県上天草市大矢野町上1514番地		
2	上天草市	(旧松島町)合津	合津神社獅子舞		松島町無形民俗文化財 昭和58年3月	10月18日 10月19日		約150年の歴史がある。この獅子舞は、合津神社の大祭で奉納される。踊りは雄と雌獅子の二頭立てと、玉振りの子供が二人。行列の先頭を練り歩いて、獅子は参拝者の頭を軽く噛んで無病息災のお払いをする。踊りは勇壮であり、両獅子のからみあいと可憐な玉つりを操る子供。ア～ップ、シャンシャンとリズムミカルな踊りの曲は、大太鼓と小太鼓 銅鑼などで構成され現在は少し型が変わり舞う時間は三十分くらいである。【松島町HP/2005】 五穀豊穡を祈願するだけではなく、隠れキリシタン一掃の政治的意図があったという【2001】 《演目》呼び出し、つれ起こし。《構成》雄獅子・雌獅子(ともに2人立て)、玉つり2、大太鼓1、小太鼓1、銅鑼1。【1991】		上天草市役所 0964-56-1111 FAX : 0964-56-4972 info@kamiamakusa-c.kumamoto-sgn.jp 〒869-3692 熊本県上天草市大矢野町上1514番地		
3	上天草市	(旧松島町)教良木	菅原神社神楽舞太鼓踊り		松島町無形民俗文化財 昭和58年3月	10月10日頃		伊勢皇太神宮への奉納楽を基調としたもの。秋の大祭に奉納される。	【伝統芸能】 風流芸			
4	上天草市	(旧龍ヶ岳町)大道	大作山棒踊り		龍ヶ岳町無形民俗文化財 平成4年11月8日	旧1月18日	大作山観音際奉納	西南の役で地区青年らが薩摩武士により踊りの基本を伝授してもらった。地区				
5	上天草市	(旧龍ヶ岳町)高戸	小屋川内獅子舞		龍ヶ岳町無形民俗文化財 平成4年11月8日	10月15日に近い		大正時代から続く、同保存会の獅子舞は、2匹の獅子の激しい動きが特徴。【2011.9.22熊日】 無病息災、五穀豊穡、家内安全を祈念するもの。高戸神社秋季大祭に奉納する。【2001】				
6	上天草市	大矢野町江後	江後の雨乞い踊り	えごのあまごいおどり		10月第1日	江後分校校庭	《演目》太鼓踊り、雨乞い踊り。《特色》三味線、笛、歌に合わせて太鼓をたたき踊る。女性は長刀踊り、男性は花棒踊り、子供は雨乞いのじゃ振り。太鼓踊りには「歌垣」「お茶れ」「狐がき」の歌がある。【1991】	【伝統芸能】 風流芸	区長		
7	上天草市	大矢野町維和千束	千束ドラ太鼓			10月25日	千束天満宮	《特色》明治初期から雨乞いのために行われてきたもので、ドラ(大太鼓)を2人で打たらず。3年前から獅子舞いを併せて演じている。【1991】				
8	上天草市	大矢野町亀之迫	祇園太鼓			旧6月13日	亀之迫祇園社	《構成》太鼓1、笛3。《特色》雨乞い踊りもあったが中断している。【1991】				
9	上天草市	大矢野町上馬場	上八幡宮例大祭神幸行列			10月14日 10月15日	上八幡宮	《特色》行列は先導～露払い獅子～立傘～挟み箱～万作歳～奴踊り～平傘～弓～鉄砲～鷹～金幣～大太鼓～天狗～四神旗～社名旗～錦旗～祭矛～神輿～神職～氏子総代～供奉人の順である。【1991】	祭礼 (神社行事)			
10	上天草市	大矢野町上馬場	上八幡宮例大祭奉納神楽			10月14日 10月15日	上八幡宮	《特色》舞は1人舞で、3人が交替で舞う。楽は笛1、太鼓1。【1991】	祭礼 (神社行事)			

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
11	上天草市	大矢野町上馬場	上八幡宮例大祭奉納獅子舞			10月14日 10月15日	上八幡宮	《構成》獅子1頭(2人立て)、玉どり童子1、太鼓1、笛数名。《特色》神幸行列の先導を行うほか、神幸行列の前に上八幡宮の境内、また、お仮屋でも演じられる。【1991】	祭礼 (神社行事)			
12	上天草市	松嶋町教良木	教良木太鼓踊りととこせい			10月第3日	教良木菅原神社	《演目》ニホウハイ、シホウハイ、ショウカグラ。《特色》舞子は男の子3人(昔は4人だった)で、御幣と鈴を持つ。楽は太太鼓1、笛6、太鼓2、小鼓2、大鐘4、小鐘4。【1991】	【伝統芸能】 風流芸			
13	上天草市	松嶋町教良木	教良木神楽			10月第3日	教良木菅原神社	《特色》4人の踊子が左右に飛びながら太鼓をたたく。そのリズムに合わせてとこせいを踊る。とこせいは奴の挟箱の踊りである。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
14	上天草市	(旧龍ヶ岳町)	龍神太鼓	りゅうじんたいこ		8月中旬	東風留港広場・五橋祭	《構成》桶胴太鼓1、太太鼓2、中太鼓2、締め太鼓4。《由来》平成元年に始められた創作太鼓。【1991】		龍ヶ岳中学校		
15	上天草市	姫戸町永目地区	山の神祭り	やまのかみまつり		11月4日	永目地区	五穀豊穡を祈る伝統行事。小中学生や保護者約20人が山の神にお供え物を奉納。山の神は、農業と海、水の神様。器量の悪い女性とされ、「女性に加わると嫉妬する」ため男性のみ参加できるという。祭りは約300年前から始まり、一時中断したものの子供会発足で復活。以前は子供だけで奉納していたが、地区の子供が激減したことから保護者も参加している。法被姿の子供たちは「山の神さん今来たつばな」と大声を張り上げて出発。地区の裏山に登り、約15分でご神体の岩に到着するとオコゼ、米で作った団子などを奉納。「めっしゃんぐし」と言われる約1メートルの木の手で団子を2度たたき、五穀豊穡を祈った。【2006.11.5.熊日】				五穀豊穡
16	上天草市	姫戸町	はしごのり	はしごのり		9月24日	牟田小学校運動場	校区運動会で披露。1982年、同小児童がメンバーとなり少年消防クラブを結成。毎年出初め式と運動会で、地域の人に技を披露。8人のかぎ手が支える高さ約3メートルのはしごにのぼり、手足をはしごから話す「逆さ大の字」など8つの技を次々に決めた。【2006.9.25.熊日】				
17	上天草市	龍ヶ岳町	観音祭りの棒踊り	かんのんまつりのぼうおどり		2月12日	大作山地区	棒踊りは、西南戦争に出征した地区の若者から続く観音まつりの余興として始まったらしい。かしの棒を持った踊り手が、歌に合わせて「エイサッサ」「サノサッサ」などの掛け声で踊る。激しさと柔らかさの両面が表現され、中学生三人を含む地区の保存会のメンバー12人が息の合った演舞を見せた。地区の世帯数は27戸で、高齢化率は4割近く。まつりは毎年旧暦1月18日に行われてきたが、棒踊りの担い手を確保するため来年から2月第2日曜に変更される。【2009.2.14熊日】				